

学校名 幸手市立さかえ小学校
所在地 幸手市栄2番9号
電話 0480-43-1509

1 本校の概要

本校は、栄第一小と栄第二小の両校を統合し、栄地区全体を学区として平成15年4月に開校した。令和3年度から幸手市教育委員会の研究委嘱を受け、本校児童の課題の一つである「読解力」に重点を置き、授業の質を高める指導力の向上と確かな学びによる子供たち一人一人の学力の定着を目指している。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

読書に親しむ態度や読書週間の育成に係る取組

(2) 実践の概要

ア 司書教諭、図書館協力員による図書館利用オリエンテーション

対象 1年生
 場所 学校図書館
 時間 1時間



イ 毎週月曜日の読書タイム

対象 全学年
 場所 教室
 時間 業前15分

ウ 朝読、隙間時間、並行読書、家庭での家読にポプラ社の「Yomokka!」の活用



対象 全学年
 場所 学習者用端末を利用してどこでも
 時間 授業時間、休み時間など

エ 幸手市立図書館との連携

市立図書館から250冊の本を司書の方に選書していただき教室内に配本している。年3回本の入れ替えも行い、常に新しい本が並ぶ。

市内小学生に配布された読書通帳に取り組み本校児童↓



夏・冬休みは、5冊貸出し、児童の読書を推進します。

オ 図書委員会児童による読書活動の推進

読書ビンゴ（いろいろな分類の本を読んでスタンプを押す。）や目標に向けて読書量を競う「さかえカップ」に取り組んだり、学校図書館掲示や放送で読書量の多い児童をアナウンスしたりして読書への意欲を喚起している。学期毎に図書委員発案の読書イベントを行っている。（辞書引き大会、本の宝探し、本のカルタ大会等を過去に実施）



カ 図書館協力員による読書推進活動

年間計画に沿った図書を各学級30冊程度毎月教室へ配本したり、季節ごとのおすすめの本、貸出しランキングなどの魅力的な掲示をしたりすることで読書への意識を高めている。



3 成果と今後の課題

(1) 成果

- ・ 児童の読書量が増え、多様な分類の本を読む意識が高まっている。
- ・ 図書館協力員の配置により児童が求める本の提供が読書活動推進となっている。

(2) 課題

- ・ 読書量に個人や学年間で、大きな差がある。
- ・ デジタル図書に親しみ、紙の本離れが進む傾向がある。